

広報

よもぎた

内容

- 新年のあいさつ.....2
- 1989年村の重大ニュース.....3
- 特集「午年をこう生きたい」.....4~5
- 青年の船随想録③.....6
- // /教育長日報.....7
- 民生課から.....8
- 社会福祉大会から.....9
- 蓬田小学校 / 各課から.....10
- 談話室 / 行事予定.....11
- けっばる蓬田人 / 戸籍の窓口.....12

No.184



賀正 丈夫になりますようにペツタン!

先づ女房の顔を見て

年改まる

虚子

十二支の七番目、「午」の年である。

「午」は、本来「馬」とは何の関係もないそうだが、

そして、「午」の字は「牛」に似ているが、漢字としての

誕生の仕方がまるで違う。「牛」の角のもげたのが「午」

ではないのだ。「午」の年は、馬のように勢

いのある年になる」という。今年、わが村にとって生

誕百一年目。二百年目をにらんだ、再スタートの年である。

力強く出発したいものだ。さて、子供達にとってお正

月といえばお年玉である。お年玉をあげることを、こ

の辺では「マッコ乗へる」という。語源は定かでないが、

「馬っこ」だろう。村の子供達、ニッコリと勢

いのある大きい「マッコ」をもらえたかな。

1月

1990

# 新年に当って

村長 八戸 良次郎

平成二年元旦に当り、村民の皆さんに心からお目出とうを申し上げます。

村行政の運営につきましては、暖かい御支援、御協力を賜り深く感謝申し上げます。

昨年は、稲作も思うように収量がとれず、見かけ倒しの感がありました。

誠に残念であります。金余りの日本と申していますが、私達農漁村、第一次産業は、極めてきびしい現実であり、どこにその金が余っているのかと不思議に思われてなりません。苦しい農業情勢は当分続くだろうと考えなければなら

りませんが、行政、農漁協、農業委員会等、一生懸命、力を合せて、苦難を乗り越えるべく、村民皆さんと共に頑張らなければと、年頭に当り決意を新たにしている次第であります。

昨年はまた、平成と年号も改まり、明治二十二年町村制施行百周年目に当りました。ふるさと創生一億円の交付金を軸に、各種行政事業と関連させて、温泉復元の為、航空探査を実施、温泉の湧くのを期待しております。

また、昔から蓬田村には、郷土芸能がないので、何とか村のシンボルとしての芸能を設置したいと考え、玉松太鼓を設定致し、百周年記念式典で盛大に披露できました。

蓬田小唄、蓬田音頭の再生、



人づくりが、何よりも村の発展の基礎と考え、教育委員会、議会とも協議を重ね、奨学基金を設定、今年四月から貸与する事に致しております。

開けゆく社会、化学の発達、文化の発展など止まる所を知らない現今、長寿社会に順応し、高齢化社会に対応する諸対策も極めて大切なことと認識しています。

明るい住みよい、豊かな村づくりに、村長も、議会も、役場職員も一生懸命頑張ります。重ねて村民皆さんの御協力を切望し、併せて村民一同の御多幸を祈念申し上げます。

『先人の遺徳を偲び  
安住の楽土を築かん』

新しい年の初めを祝し、皆様と共に前途の発展を祈ります。

昭和は一月七日で終って、八日から平成時代に入ったこの一年であります。何か佳きことを願ったのですが、別に

これといった仕事も出来ず、平凡な一年であったように思っています。

「役人」とは役に立つ人の意でありまして、その点まこと汗顔の至りであります。

しかし、今、年頭を迎えるにあたり、心を新たにしていることと言いますと、第一に小中幼を通じて、それぞれが「これだ!!」というものを一つ持ってもらいたいことでありまして、即ち特色ある学校づくりであります。幸い両校長共もろ手をあげ賛同していただきました。更めて両校の栄光と宿願達成を祈ってやみません。



教育長 奈良 尹

## 村勢活性をめざして

最後に「玉松太鼓」も誕生しました。未永く愛していただき、村の活気を呼び出すためにも一段と努力いたしますのでよろしくご協力をお願いします。

また、真に自分達の学習として、盛況満員の会合にしていただく所存であります。

また、村の方々には、生涯学習の心を忘れず、この事業に一段とご理解をいただきたいこととあります。

このためにはその内容（プログラム）には講師、開設希望教室等皆さんの意見を受け、

また、村の方々には、生涯学習の心を忘れず、この事業に一段とご理解をいただきたいこととあります。

また、村の方々には、生涯学習の心を忘れず、この事業に一段とご理解をいただきたいこととあります。

また、村の方々には、生涯学習の心を忘れず、この事業に一段とご理解をいただきたいこととあります。

また、村の方々には、生涯学習の心を忘れず、この事業に一段とご理解をいただきたいこととあります。

また、村の方々には、生涯学習の心を忘れず、この事業に一段とご理解をいただきたいこととあります。

また、村の方々には、生涯学習の心を忘れず、この事業に一段とご理解をいただきたいこととあります。

また、村の方々には、生涯学習の心を忘れず、この事業に一段とご理解をいただきたいこととあります。

また、村の方々には、生涯学習の心を忘れず、この事業に一段とご理解をいただきたいこととあります。

広報よもぎた

# 1989年 村の重大ニュース!

昨年は、こんな事がありました

昨年、村が主催した大きな行事として、村制施行百周年記念の記念碑の除幕式・記念式典・祝賀会や、ヘリコプターによる湯脈調査等色々な事がありました。これらの事を写真でまとめてみました。



11/19 村制施行100周年記念式典では163名の方々が表彰される



7/17 ヘリコプターで湯脈の調査



3/30 水産物処理加工施設落成



8/27 3,000人のお客さんで賑わった牧場祭



7/30 村民体育祭で長科チーム3年連続V



11/4.5 第9回蓬田村民祭

とし男、とし女が語る私のねがい・私ののぞみ



中 沢 博 信  
坂 本 博 信

小学校では、昨年の夏から秋にかけてグラウンドが使えるなかつたけれど、今年からは使えると思うので、野球部の練習をがんばりたいと思います。勉強も社会科をはじめ、いろいろ苦手なものがあるのでその教科を一生けん命やりたい。

もちろん野球部ではレギュラーをねらっています。



蓬 田 中 貴 子

今年、部活に特に力を入れたいと思います。それで、馬のように足が速くなれるように体力をつけたいと思います。

今、私はミニバスケットの部長をしています。人数はほかの小学校よりも少ないのですが、みんなと一緒に練習を一生懸命して、春季大会などいろいろな試合に勝ちたいと思っています。



長 科 孝 紀  
松 本 孝 紀

今年、ぼく達の年なのでこの一年間、いまやっている柔道や勉強に特に力を入れてがんばりたいです。

それに、自分の体にしゅう分気をつけて事故やけがのないようにしたいです。

また、体をきたえて苦手なことにもどんどん挑戦していきたいと思っています。



瀬 地 越 田 絵 梨 香

十二年に一度しかこない私の年。長かった小学生。今年、は六年生です。「一打入」卓球で体をきたえ、一日でもはやく蓬田村の一番になりたいです。去年は友達が多くて、男達とはけんか友達で、ちよつと不安です。事故も入院もしないで、よく遊び、よく学ぶ年にしたいです。



郷 沢 昭 治  
高 田 昭 治

早いもので、二度目の年男を迎えてしまいました。

自分自身、年男でもあるこの一年、何事にも積極的に取り組みながら、馬の如く走り回り、自分にとって飛躍の年となるよう有意義な一年を過ごして行きたいと思っています。

今年、走る、走る、元気で走ります。



高 根 恵 知 子  
久 慈 恵 知 子

以前ある人からこんな言葉を贈られました。

『百万ドルの笑顔と明るさをいつまでも忘れず、何事も一生懸命がばりなさい』

自分の年であるこの節目にふと思ひ出し、いつも笑顔がよく、何事にも一生懸命取り組み、自分なりに充実感があったと思えるような年にしたいと思っています。



阿 弥 陀 川 淳 一  
森 淳 一

あらためて思うと、いつの間にか過ぎた月日が一瞬のようでした。

午年のせい、いつも飛び回ってはかりいたような気がします。今年、年男ですから、何ことに対してもじつくり、あせらず行動したいと思いません。

しかし、雪を見ると飛んでしまう自分が見えるようです。



科 山 純 子  
長 下 純 子

人並に苦しいこと、楽しいことも経験し、無我夢中で過ごした三十五年。あつという間に年女に！

年女という実感はあまりないけれど、今迄に築いたものを無駄にしないで、家族お互いに励まし合つて家庭円満に、従業員のみならず助け合いながら商売繁盛にと、天馬の如く、大きな飛躍の年にできればと思っています。

# うま 午年を馬く生きたい



郷 沢 貞 勝  
今

蓬田村へ来て早や十七年目になりました。村、部落の方々には大変お世話になり感謝の気持ちです。

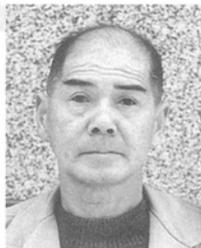
今年には自分の四回目の年男ですが、馬の目のようなやさしい眼差し、やさしい気持ちで皆様方に接し一日一日充実した悔いのない日々を送りたいと考えています。馬力を持つて今年もがんばろう。



中 沢 本 睦 子  
坂

蓬田村に嫁いで二十六年、今年には私の年、健康に注意し、どんな年にも積極的に忙し中にも充実した毎日。

また、農家の主婦としてこのきびしい農業情勢に対応し、農家ならではの自然自足に取り組み、身心共に豊かに過ごせたらと思っております。



蓬 田 藤 弘  
工

私は、今年で五回目の年男を迎えることになりました。

思い起こせば子供の頃から戦争と食糧難が続き終戦の年でもありました昭和二十年、小学校を卒業してからも苦しい毎日でした。

今は孫の顔を見ることが何よりも楽しみです。今後とも家族のためにも、また社会のためにも健康でより一層努力し頑張ります。



広 瀬 八 重 樫 キミ

家内に馬年生れが三人いると、縁起が良いとされた。農耕民族の労働力としての馬が、大切にされた名残りだろう。

家運隆盛にあやかり、天翔けると行きたいところながら、現実には、ギャロップもままならぬ心境。せいぜい健康で平凡ながら、どこかで必要な人でありたい。

私と、息子夫婦、着実なフ



瀬 地 秋 雄  
盛

ツトペースで歩き、馬三頭、有意義な年に歩みを進めたい。

今年の目標は、現在飼育している烏骨鶏を白色三羽羽、黒色三羽にする事、また、黒毛和種の子牛を村の共進会に出す事です。

毎日、動物にふれあう生活が自分の健康のもとだと思います。少し位具合が悪い時でも休んで居られません。今年も健康で牧場に行き、蓬田牛の名を高めるお役に立てれば幸いです。



蓬 田 谷 よ し  
柏

大正、昭和、平成と大きな病気をしないで今日までやってきました。

蓬田に来てから土地を買い、家を建てました。

今一番幸せだと思つのは、元気で働けること。いつまでも健康で、「ボケ」ないよう働きたいです。



阿 弥 陀 川 青 木 豊 四 郎

私は、昭和六年、二十八歳の時、冬山官行事業場において、木材運搬中、木と木の間に挟まれそれはひどい怪我をしました。それから苦しみの連続でした。けれどそれで健康に気をつける様になり「酒、タバコ」などやらず、今まで長生きして来たと思う。

これからも気をつけて家族の若い人と融和して愛される老人となるうと思つ。



瀬 地 船 橋 み よ

今年で、七回目の年女を迎えました。

今まで長生きしてこれたのは、食べ物好き嫌がなく、何でも食べるので、若い頃から病院に通うことなく今まで暮らしてきました。

年のせいか耳は遠くなりましたが、元気でいられるのが今一番の幸せだと思っております。

# 船

## を降りてながらが本当の自分!



瀬地  
飯田明子さん

韓国の税関は厳しかった!

第一の寄港地フィリピンから再度の船酔いに苦しみながらも、うねる波濤(はとう)を北上して「青年の船」は九月二十日午後八時、最後の寄港地釜山へ錨を下した。寄港地での研修はマニラで経験済みということで割合気楽に構えていた私達だったが、今回初めて経験する税関で思ったより時間がかかってしまったのである。

下船してシャトルバスで税関へ、そして税関を通過し終わった時には早や十時過ぎという始末だった。

私は個人的に日韓交歓会でやる手踊りの道具(傘や着物)を持っていたので、税関の人に「これは何ですか?中をあけて下さい」と言われて少しドキッとした。

「反日感情が根強く残っている国」と聞かされてはいたけれど、フィリピンでの熱烈歓迎との違いにショックが大きかった。

韓国の英雄は李舜臣(りしゆんしん)。

しかし、天気は上々、私達は一路竜頭山公園へ向かった。竜頭山公園では高いタワーと韓国の英雄、李舜臣の銅像が目をつけた。

日本との戦いから韓国を守った将軍は時代を越えて今も静かに日本を睨んで立っているように思えた。

バスが止まるや否や東和に駆け込んだ。まあバーゲンに群がるオバサマ達を想像しただければ……。

記念植樹では、『日韓青年の友情と連帯が末長く育つように』と願う!

そして、昼食、午後は四百萬大都市の景観を尻目に記念植樹を行った。

植樹をしながら「今植えられたケヤキの成長とともに、日韓青年の友情と連帯が末長く育つように……そして一日もはやく反日感情が消えてくれれば……」と銘々感じたのではないかと思う。

最後はまた、竜頭山公園へバスを乗り捨てて市街見学。短時間だが夕暮れの迫る釜山を散策した。

交歓会では、『韓国の青年は熱心に日本語を勉強している』と痛感しました。

その日の夜、韓日友好青年交歓会が開かれた。外国青年との友好親善はこれで「一度目、少しは慣れたかな?とはいっても、やはり語学力の差は歴然としていた。

フィリピンでも感じたことだけど、本当にみんな熱心に日本語を勉強している。

それに比べ私達は……?情けないような恥ずかしいような気がした。

私が話した韓国の方も、日本国総領事館に勤めているとだけあって、すごく日本語がうまかった。その人は、『前回も交歓会に出席した。青森県の人達みんな楽しくていい人ばかり』と言ってくれてすごくうれしかった。

慶州には、第一回の団員が植樹したサルスベリが友好の証。

史をもつ古都で日本の奈良とは姉妹都市である。

なるほど、王陵公園、天馬塚、慶州博物館、仏国寺を見学したが、ン年前に修学旅行で行った奈良、京都と同じ趣きがあった。

仏国寺前では第一回青年の船の団員が植樹したサルスベリが友好の証でもあるようにしっかりと根付いていた。

釜山港の夜景はとても綺麗! 二日間の寄港地活動を終え、船はもう日本をめざすのみとなった。船のデッキから見た釜山港の夜景はともきれいだっ。

坂の多い国なので、灯りが平らじゃなくずっと空まで届いているように見える。きつとずっと忘れることができな





いだろう。デッキから私は、友達三人と唯一覚えた韓国語「カムサハムニタブ」「ありがとう」の意を思いっきり叫んだ。

船酔いと戦い、フェスティバルを無事成功！

航海も残すところあと二日となり、すべての洋上研修を終えた二十二日の午後に行われたフェスティバルでは、各組が船酔いに悩まされながら寸暇を惜しんで練習した演奏発表。

いつこんな作ったんだろうと思うような大道具、小道具を持ちよっての披露でした。サヨナラパーティでの谷川団長代理の言葉には、団員全員が涙…涙…

そして、迎えたサヨナラパ

ーティ。「お別れの時が迫ってきた。人生を語り、多くの事を教えてもらったみなさんに感謝し、私はこの素晴らしい出会いを大切にしたい。青年の情熱と行動力があれば青森県の未来は切り開いていける。旅の終わりではなく新しい出発だ」と谷川団長代理の言葉に私達団員は知らず知らずのうちに目頭が熱くなってくる。

あとはもうあつちでもこつちでも涙…涙…

十四日間の船旅はこれからの人生を変えそう！

長いようでもあり短いようでもあった十四日間、そしてもう二度と巡り来ないこの一瞬。数えきれないほどの出来事が次々と頭に浮かんでくる。友達もたくさんできた。いい思い出もたくさんできた。

私達の青年の船の航海は今日で終わった。

しかし、船を降りてからが本当に船に乗った意義を問われる期間だと思う。

谷川団長代理の言葉にあるようにこれから私達の情熱と行動で自分たちの住む地域、ひいては青森県を盛り上げていかなければならないと思う。他国が日本を追いつけ追

## 報日長教育

尹 奈良 教育長

十一月は結婚シーズンである。連休がらみで三箇所のお目出度である。立派に成人した若いカップルに、将来の期待をこめて乾杯の音頭をとる。村民祭は多数の参加で例年通り終了する。実は百周年の二番煎じになるのではないかと心配した

が、これはこれで充分目的を達した。

長年の懸案であった小学校グラウンドの防塵改修をこの十日に終わった。散水範囲直径五十mのスプリンクラーが偉力を発揮してくれることだろう。東郡下中学校の音楽発表があったが堂々たるものであった。東郡東平内中が東北第三位であったとか。口の開け方がちがっていたと思う。我が中学も出来ないことはないだろう。

村百周年は無事終了、薄ら寒く、時々日のさしこむこの日であったが一、〇〇〇名の村民が一堂に集まることはそんなにないだろう。我方はアトラクションを主として担当したが「玉松太鼓」が果た

して皆さんの期待に応えられたかどうか不安な点もあった。「腹響く太鼓は、しばらく感動の餘音を残し参集の方々を引きこんだ」村の太鼓として大切に保存するつもりですのでよろしく。

大学、短大、各種専修学校等、進学はいいことだが、父兄負担は大へんなものがある。月平均十万円は仕送りするという。仕度金程度だと思えますが月額二万円、これを年二回に貸与する、この条例は十二月議会の議を経て今年四月から実施の予定です。

詳しいことは教育委員会学務課へどうぞ。

## ビデオ版「昔っこ」の最終作決まる！

今年「玉松の狐と貉」

いろいろな思い出を残して、五ヶ年にわたって制作されてきた「昔あった」も、第五作をもって終了します。

この昔っこ、将来「ふるさとに生き、ふるさとに学ぶ」ための貴重な財産となるでしょう。

また、今まで制作した四作目までのビデオ版は、社会教育課と、中央公民館にて保管し、いつでも貸し出しできるようにしていますので、どうぞご利用下さい。

青年の皆さん、どんどん参加して下さい。

# 健康クッキング

石山慶子

広瀬  
食生活改善推進員

## ●白菜のミルク煮

●材料（2人分）

白菜100g/シイタケ2～3個/にんじん20g/  
干し貝柱2分の1個/油大さじ2分の1

○ミルクの材料…A

スープ4分の1カップ/スキムミルク大さじ1  
/カタクリ粉小さじ3分の2/酒・砂糖・こしょう各少々/生クリーム大さじ2分の1/パセリ・グリーンピース少々



子供が小さい頃はよく、チーズ、バターミルクなどを使った料理を作ったりもしましたが、現在、子供が家を離れてからは、仕事の忙しさに追われ、軽い食事で終わる事もありません。

でも、食生活改善推進員として活動するようになってからまたバターミルク等を使った料理などを作ってみました。夫は日本食好みでバターミルク等使う料理は嫌います。でも、ちょっとした炒め物、カレーなどに少しバターを入れたり夫の好きな魚などにミルクを使ってみたり今日も白菜がありましたので、クリーム煮を作り食べてもらいました。

バターのおいおいやがるのでサラダ油を使ったらおいしいと食べてくれました。嫌いな物もちよつとの工夫で食べやすくなり、喜んで食べてもらえるよう努力しなくてはと思いました。



夫は日本食好み。  
好きな魚にミルクを使って。  
嫌いな物もちよつとの工夫で食べやすく。

### ●つくり方

- ①白菜は大きめのそぎ切り、シイタケは薄切りにし、にんじんは、太めのせん切りにします。
- ②貝柱はぬる湯につけてもどし（もどし汁はとっておく）ほぐしておく。
- ③鍋に油を熱し、①の白菜、シイタケにんじんを炒めまます。
- ④全体に油がまわったら、Aと②の貝柱と、もどし汁を合わせたものを加えて、ひと煮します。
- ⑤④の仕上げに生クリームを入れてコクをつけ刻みパセリまたは、グリーンピースを散らす。

## 暮らしと電気安全

電気器具の取扱いに  
注意

(財)東北電気保安協会

消防出初式は、今から三十年前の万治二年（一八九九）一月四日に、旗本のひきいる定火消が、上野東照宮で一年の働きを誓ったことに始まるといわれています。

東京では、昭和二十八年以来六日に行われていますが、地方によっては日はまちまちです。

ところで全国の全火災に対する電気火災の割合は、最近約八%となっています。

家庭で使用されている家電製品からの出火について見ますと、欠陥製品と呼ばれるものからの出火件数は、全国的に少なく、電気ストーブや電気コンロ、電気こたつなどの電熱器具の取扱い不注意によるものが多くなっています。

# 安心して暮らせる郷土をめざして！

## 第七回村社会福祉大会開催される

地域住民がお互いに支えあい、ともに助け合う社会の実現と、次代を担う子どもたちの思いやりの心を育てることにより、村民が安心して暮らせる郷土づくりをめざそうと、十二月六日、玉松公民館において福祉関係者二百名が出席して、第七回村社会福祉大会が開催されました。

村制施行百周年を記念した大会では、はじめに弘前市の郷土史家寺島勝負先生による『長寿の秘訣』と題しての講演から始まり、「お互い仲良く笑って暮らし、長生きは心身とも健康であることが大事」と熱っぽく話し、午前の部を終わりました。

昼食後、保育所の幼児達のかわいい遊戯を見てお昼休みを過ごしました。

式典では、全員で物故者に対する黙禱を行った後、坂本豊道村社会福祉協議会長が、「村民憲章のもと、お互い力を合わせ、助け合って福祉の村を築きましょう」と式辞を述べました。

名誉大会長八戸良次郎村長は、「二十一世紀に向かっていくときに、村民全員が健康で長生きしてほしい。今後も福祉関係者の幅広い活動に期待します」とあいさつした。

引き続き、村の社会福祉事業に寄与した蓬田かほりさんから二名に感謝状と記念品が贈呈されました。

また、県共同募金会長感謝状が個人二十名と法人三社に伝達されました。

来賓として、奈良岡勇造東地方福祉事務所次長等の祝辞を頂き、村社会福祉のますますの発展を祈念して全員で万歳三唱して大会を無事終了しました。

▼社会福祉寄与感謝状  
蓬田かほり、八戸初恵、鈴木キヌエ

▼県共同募金感謝状  
「個人」川崎君弘、吉田清光、小松宗、高田仁吉、三上建弘、坂本豊道、田中勝家、小松直作、津島鉄男、久慈寛一、工藤義正、坂本豊、佐井武道、坂本祐一、青木滋、八戸一郎、佐井浩行、坂本繁男、清水信造、吉崎良一

「法人」田浦建設、蓬田紳装KK、坂本建材



## 社会福祉に役立てて！

### 村母親クラブ連絡協議会と 役場女子職員が寄付

十二月七日(木)村社会福祉協議会に訪れ、坂本豊道会長へ社会福祉に役立てて下さいと、蓬田村母親クラブ連絡協議会会長の藤田かちさんと、蓬田村役場女子職員代表の猪股智栄子さんが温かい善意の寄付を手渡しました。

この寄付金は、十一月四、五日に行われた第九回蓬田村民祭において、母親クラブはフランクフルトやシュークリーム等を販売した収益金五千二百五十円と、役場女子職員がタンスや押し入れの奥に眠ったままになっていたサイズの合わない出物の食器などを欲しい人に安くお分けした収益金一万四百八十円です。

坂本会長は「金額は関係ありません。皆さん方の福祉の心がうれしい。大切に使用させていただきます」と感謝していました。

両団体は「これからも地域・職場ぐるみで福祉活動を続けていきます」と話していただきました。

ありがとうございました。



# 『ヨイシヨ』のかけ声で キネをふるう

## 蓬田小学校もちつき会

恒例の蓬田小学校もちつき会が、十二月十五日、同校体育館において開催されました。この、もちつき会は、失われたつつある日本古来の伝統的行事を再現し、児童と父母、教師相互の親愛感、連帯意識を深めることを目的に毎年開催されています。

また、使われたもち米は、蓬田村農業協同組合青年部が六十鈴、蓬小PTAが十五鈴を寄付して開催されました。当日、はち巻姿で四班に分かれた児童はそれぞれの班ごとにウスを二重にとりかこみ、「オース」のかけ声で開会式が始まり、農協青年部長吉崎治八さんからは「お父さん、お母さんが田んぼで作ったお米を持って来ました。これを食べ、明日から元気に勉強して下さい」と挨拶がありました。

もちつきは「ヨイシヨ、ヨイシヨ」のかけ声とともに、全員が挑戦しました。つきあげたもちは、早速、蓬小PTAのお母さん達により「きなこ」「おしろこ」「ぞうに」もちにされました。おもちを食べる前に全員で、「①もちのようにねばり強くなりたい。②冬に負けない強い子になります。③心の広い

人になりたい。」と斉唱し、それぞれ好みのおもちを賞味しました。

この後、奈良良成校長より「皆さんは今日、三つの願いをしました。この願いをかなえるためには、寝ていてはかないません。毎日、努力することが大切です。明日から遊び、勉強に頑張ってください」と挨拶がありました。

最後に児童全員で、今日のもちつき会を開催してくれた方々に感謝の気持ちを述べて楽しい一日を終えました。

### 農林業センサスにご協力ください！

農林水産省では、平成二年二月一日現在で、全国の農家、林家などを対象に「世界農林業センサス」を実施します。この調査は、わが国の農林業の実態を明らかにする最も基本的な統計調査です。調査の結果は、国や地方公共団体をはじめ各方面で農業施策推進などの基礎資料として広く利用されます。調査員がお伺いして、農林業の経営状況などをお尋ねしますのご協力をお願いします。

### 税務等の無料個別相談を開催します

蓬田村商工会では、専門の税理士の方による税務等の無料個別相談を開設しますので、お気軽にご利用下さい。

### 社会福祉の増進に努めます！

#### 新民生委員が決まる。

十二月十四日、民生委員・児童委員一斉改選に伴い、十二月一日付けで、八戸村長から委員に委嘱辞令が交付されました。

この後、組織会の結果、満場一致で、民生委員総務に坂本豊光氏、民生委員副総務に久慈繁三氏が選任されました。各地区の民生委員の方々は次の通りです。

- |    |      |       |
|----|------|-------|
| 高根 | 中沢   | 坂本 静夫 |
| 広瀬 | 長科   | 坂本 豊光 |
| 瀬地 | 阿弥陀川 | 野藤 あい |
| 郷沢 | 蓬田   | 武井 次子 |
| 宮本 | 宮本   | 工藤 俊雄 |
| 瀬地 | 郷沢   | 島山貞次郎 |
| 高根 | 瀬地   | 木村 智美 |
|    | 久慈   | 繁三    |
|    | 稲葉   | 勝雄    |



おわび  
蓬田村村制施行百周年記念功労者の「民生・衛生関係」に川崎ヤサ（広瀬）さんを追加します。



# 談話室

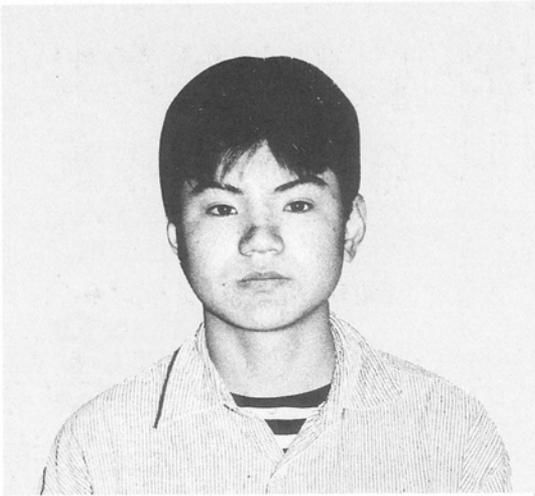
## 大好き！津軽手踊り！

今回は、十一月二十四日、日本武道館（東京）において開催された、第二十九回郷土民謡民舞全国大会（民舞組土の部）と、十二月十四日、ゆ

うぼうと（東京）で開催された、「故郷の歌と踊り日本一・第六回日本民謡民舞大賞」決勝大会に初出場ながらも見事グランプリを獲得した坂本寿志（中沢）さんに取材しました。

坂本さんは、小さい頃（六歳）から石川流の津軽手踊りを習い初め、厳しい練習を積み重ねてきました。大会で踊ったのは七人編成（他六人は青森市）の「津軽三下り」で、ピタリと息の合ったはつらつとした演技となり金的を射止めました。特に、「故郷の歌と踊り日本一・第六回日本民謡民舞大賞」は、北は北海道から南は沖縄県まで、八十団体からの参加申し込みの中から二十五組の入賞団体に選ばれ、決勝大会で見事日本一になりました。

坂本さん達の日本一は、青森市の石川流宗家石川義衛さんの強力な指導と、坂本さん達のたゆまない努力の結晶です。また、本年の二月には「浅草公開堂」五月には「武道館」十二月には「ゆうぼうと」で開催される大会にゲスト出演も決まっております。ケジュールになっています。青森北高二年の坂本寿志さん、学業に手踊りに今日も頑張る。



No.23 **がんばる** 坂本 寿志 中沢

○ 1月行事予定							日	行	事	担当
30	20	18	18	17	16	16	11 ~ 9			
成人スキー教室（ナイター）	成人スキー教室（ナイター）	成人スキー教室（ナイター）	母親教室 9:00 ~（中央公民館）	始業式（中学校）	始業式（小学校）	成人スキー教室（ナイター）	村民スキー教室（村営スキー場）			
社会教育課	社会教育課	社会教育課	民生課	蓬田中学校	蓬田小学校	社会教育課	社会教育課			



現在、瀬辺地変電所下の海岸に中空三角ブロック（1個の重さ約2ト）を海に沈める作業が進められています。この作業は、青森工事事務所、海岸出張所が担当していますが、この三角ブロックは、ヤマセの強い時などの、波しぶきを防止することが出来るそうです。また、いずれこの海岸にも砂が付いて遠浅になってくれればという期待もあるそうです。

みくつけた 23

けつばる蓬田人 ⑩

# あけみさん

詩人

なかむらあけみ  
村明美さん



子の下から髪の毛は肩までもあり、スリッパに紫壇の杖である。

初秋とはいえ街中には半袖姿の若い人もいて、まだ少し動き回ると汗ばむのだ。

老詩人から草野心平、池田克巳、山之口猥等の先達詩人

たちとの交遊のあれこれを聞き、三回連載の読み物にするという企画である。少しばかり詩を書くのでそういう面白い仕事が入ったりする。

また過日、現代誌を読む、ほとんど綿のはみ出たような真冬のいでたち、毛糸の帽の詩人高木恭造のまるめるか

ら、一篇を選んだ。

自分の体であたためた言葉で、足元から立ち上がるように生活をうたって胸をつく。

みんなが田植えて出払った六月の真昼、私は母の実家の倉谷で生まれた。首に臍(へそ)の緒がまきつき祖母が逆さにして背中を叩きやつと泣き声を上げたと聞く。

初めて吸った空気が蓬田の六月の明るい空気である。虚弱体質でまわりの人たちにはずいぶんお世話をかけて大きくしてもらった。

津軽は私の中で年を経る毎

に鮮明なものになる。この二年間、新人賞の佳作一席や年間優秀作品等をもたらす評価されるようになった。詩で何が出来るか、目をつ

ぶって来年詩集上梓(じょうし)の予定である。

ずつ評価されるようになった。詩で何が出来るか、目をつ



## めも

▶現住所/埼玉県坂戸市石井2898-13-210  
☎0492-83-9937▶生年月日/昭和25年6月6日▶出身/阿弥陀川/中村武次氏長女▶家族構成/夫(靖彦)・長女(詩子)・次女(桐子)▶好きなもの/音楽(パツハからハウンドドック、渡辺美里まで広く聞きます)今好きなのは、ハンガリー田園幻想曲(トッブラー)ロンド、カプリチオーソ(サンサーンス)等▶経歴/詩人会議員、冊同人

## 戸籍の窓



### 人口と世帯数 (11月30日現在)

総人口 4,195人  
男 2,022人  
女 2,173人  
世帯数 1,042世帯

### 11月受付分

#### お誕生おめでとうございます

張間 紀成	(基子)	長男
三浦 正嗣	(孝彦)	2男
坂本美沙子	(辰郁)	長女
張間稚香子	(寛幸)	長女
青木 昭平	(晶千恵)	長男
	(隆成)	長男
	(久子)	

#### ご結婚おめでとうございます

(木村 真司 (蓬田) / 笹田 好子 (青森市))  
(久慈 省悟 (瀬辺地) / 佐々木育子 (浪岡町))

#### おくやみ申し上げます

坂本重太郎(中 沢 74歳)  
小松作十郎(阿弥陀川 62歳)  
八戸 キヨ(阿弥陀川 89歳)  
松本 トヨ(長 科 73歳)  
八幡 たけ(高 根 92歳)